

高齢者が地域や自宅でいつまでも元気に過ごせるよう、オンライン等を活用した健康管理を目指す

地域のニーズに合わせた医療・支援・施設を提供していく

社会医療法人 光生病院

岡山大学病院と連携し、高度急性期医療から回復期のリハビリ棟対応、訪問看護・介護・リハビリなど地域の暮らしを支える地域包括ケアシステムを実践し続けています。将来的には、マイナンバーカードを使用したオンライン診療や電子カルテなどの診療情報を活用し、自宅にいてもいつでも診療や治療、リハビリ

お問い合わせ
社会医療法人 光生病院
岡山市北区厚生町3-8-35
☎ 086-222-6806
<http://www.kousei-hp.or.jp/>

光生病院

検索

暮らしを支える地域包括ケアシステムを
今後さらに、在宅医療・支援に力を入れていく

昭和27年の設立以降、岡山の地に根差した地域医療、未来を見据えた質の高い医療の提供を心掛けていた光生病院では、19の診療科目をはじめ、社会医療法人として、24時間、365日体制の救急医療、へき地医療支援病院として医師の派遣を行っています。また、岡山大学病院の先進医療と密接に連携して急性期医療と急性期後医療を拡充し、急性期病棟・地域包括ケア病棟とリハビリテーション機能の強化・専門化を目指し



光生病院の外観

「スポーツ外来にも積極的取り組み、医師は学校やクラブでスポーツドクターとしても活躍しています。整形外科では膝関節の治療にも力を入れています」と佐能理事長。

岡山大学病院の先進医療と密接に連携し
地域に根差した医療・質の高い医療を提供



理事長
佐能 量雄(さのう かずお)
昭和52年、東京慈恵会医科大学卒業、平成4年から社会医療法人光生病院理事長兼院長、社会福祉法人ことぶき会理事長に就任。一般社団法人 岡山県病院協会専務理事、一般社団法人 全国公私病院連盟常務理事、一般社団法人 日本医療法人協会専務理事、公益社団法人 全日本病院協会理事など

超高齢社会へ突入し、医療を取り巻く環境や地域の病院の在り方も刻々と変わってきています。「光生病院」でも地域の医療を担う立場として、さまざまな取り組みが行われています。理事長で院長の佐能量雄先生に伺いました。

山陽新聞・OHKの生活情報紙

さりお SALIO

2023/4/21 掲載